

学びのリーダー発掘!! WIL入試

従来の学力試験とは違う、「思考力・判断力・表現力・主体性・協働性・多様性」などを評価するまったく新しい入試で、本校が推し進める「協働型」「プロジェクト型」の学びにおいて他生徒の模範となる、追手門大手前の学びのリーダーを発掘します!

*WIL: Work-Is-Learning 行動を通じて学習を行い、すぐに実践に反映する経験を積み重ねる学び

アドミッションポリシー (求める生徒像)

- 本校の教育方針を理解する者
- 自らすすんで学び続けようとする者
- 自分なりの考えを表現しようとする者
- 様々な人々と、ともに学び・行動しようとする者
- 人々のため、社会のために役立とうとする気持ちを持つ者

WIL入試入学者
インタビュー動画



グループのメンバーと
課題解決に向かって協力する!

スタンダード型

3回の学習会では、5名程度のグループで課題に取り組みます。同じグループのメンバーとコミュニケーションを取りつつ、ひとつの目標に向かって協力してアイデアを出し、みんなの考えをまとめる様子などを採点します。



しっかりと準備して
自分の考えていることを発表!

プレゼン型

3回目の学習会で、自己紹介と自分の将来についてのプレゼンをします。家で十分準備をしてきてからプレゼンをできるので、安心。人前で話すのが好きな人、自分のことを周りに伝えるのが得意な人、ぜひチャレンジを!



グループワークにプラスして
英語学習経験を活かせる!

グローバル型

3回の学習会で、これまでの海外経験や英語学習経験を活かせる面接をします。面接には、英検4・5級程度の簡単な内容の英会話を含みます。英会話教室に通ってきた人、英語資格を持っている人など集まれ!



プログラミング グループワークで
ミッションクリアを目指せ!

プログラミング型

3回のグループワークは、プログラミング活動の様子を評価します。ミッションクリアに向けて、グループで1つのブロック式ロボットを組み立て、Scratch (スクラッチ) ベースのソフトウェアでプログラミングします。

全体内容

- ▶ WIL学習会を経て
出願資格を得た児童のみ受験可能とし、合格したら必ず入学する(専願)児童が対象
- ▶ 4つの型から1つのみを選んだうえで3回のWIL学習会の参加と、1回以上のプレテスト受験を必須
※グローバル型受験者は、第2回プレテストでⅡ型受験を必須
- ▶ WIL学習会では3回の「グループワーク」の様子、各回の「個人面接」、各回で課す「課題」を評価し、出願資格を審査する
- ▶ 【プレゼン型のみ】(3回目の学習会と同日に実施)
自分の好きなおもしろいところや、自分らしいところと、それを将来どう活かすか、について、1人3分以内で発表し、その後面接官から質疑
- ▶ 【グローバル型のみ】(3回目の学習会と同日に実施)
これまでの海外経験や英語学習などについての経験と、将来の夢、などについて面接で質問。この面接では、英検4・5級程度の簡単な内容の英会話も含む
- ▶ 入試当日は「身近な課題の解決策についての作文」と「個人面接」を課す

Student's Voice

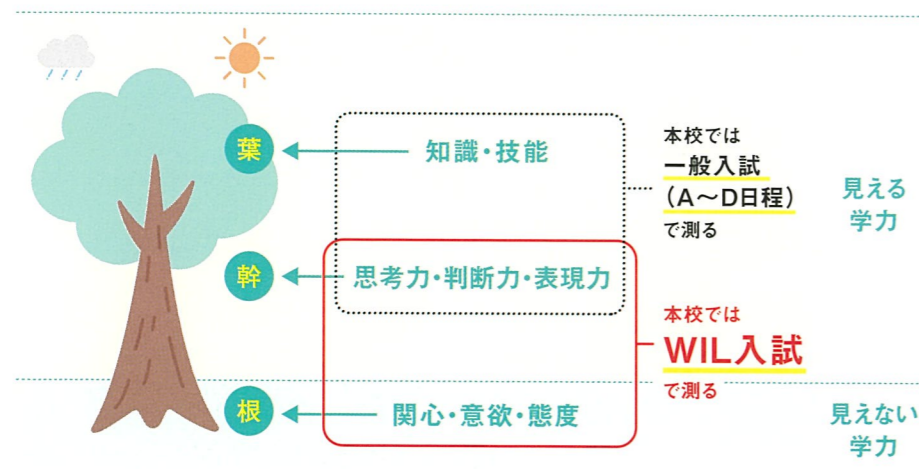
WIL入試で必要とされたどんな力が 入学後のどんな場面で活きていますか?

- みんなをまとめて効率良く物事を進める力が、グループワークや行事の準備などで活きています。
- 様々な人と学び行動するという力は、入学後一番大事な力だと感じています。
- 探究の授業だけでなく普段のいろいろな場面で、人に意見を伝える力と想像力が活きています。

WIL入試にチャレンジする受験生へ アドバイスをお願いします

- たくさんの人と話したり、チームで協力して1つのものを作り上げるのが、とても楽しいです!
- 学習会の参加を通じていろんな仲間ができるので、入学が楽しみになります。
- 発表や自分の意見を話すことが苦手でしたが、WIL入試がきっかけで、できなかったことができるようになり、新しい自分を発見できました。
- 他ではできない経験なので、迷っているなら受けた方がいい。この先、何年経っても大切な経験になると思います。

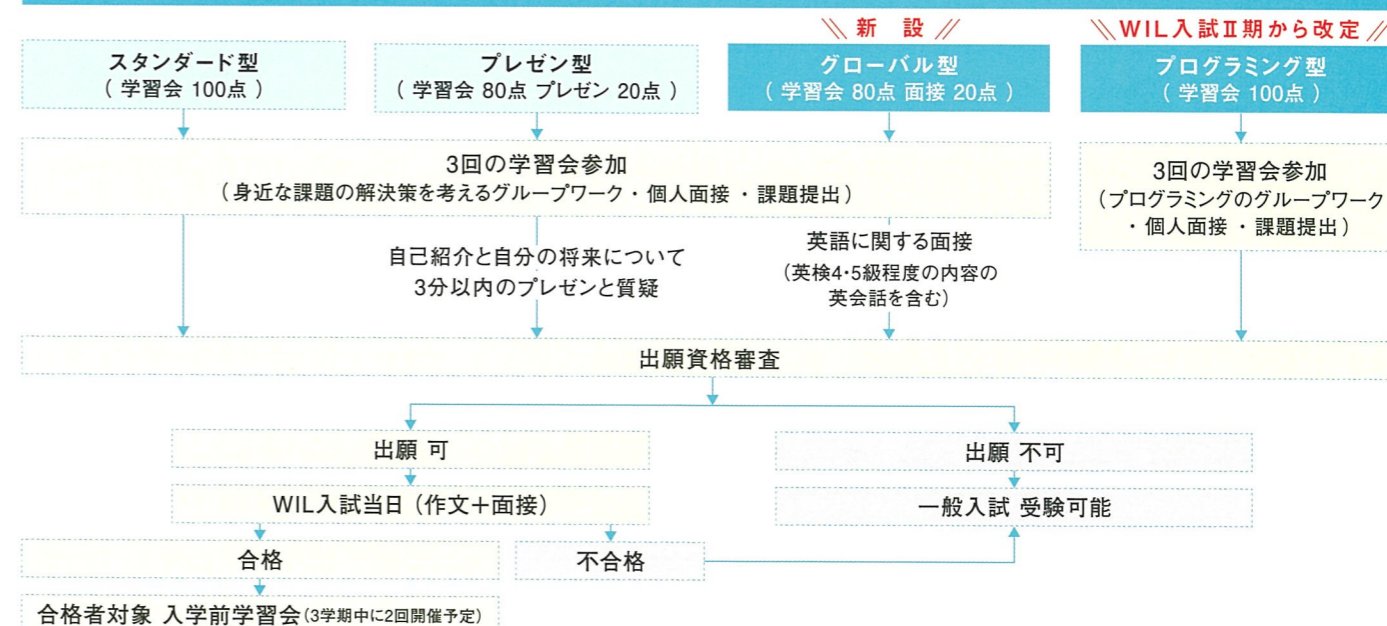
WIL入試で測るのは、ペーパーテストでは測りにくい学力の根幹部分です



「学力」を大きく3つに分け、それら3つの要素の関係を『学力の樹』に例えています。「根」は外からは見えないが、しっかりと張っていれば太くてたくましい「幹」が育ち、その先には青々とした豊かな「葉」が生い茂ります。このように、3つの学力が一体となって1つの学力の樹が形づくられます。追手門大手前のWIL入試では、ペーパーテストと異なる方法で、入学後の可能性を感じる「根」や「幹」を持つ児童を見つけます。

※志水宏吉「学力を育てる」(岩波書店)を基に作成

WIL入試 選考の流れ



追手門大手前の「学びのリーダー」発掘!! WIL入試とは?

01 知識・技能が十分であることを前提として、従来の学力試験では測れないがこれからの社会を生きる上で必要となる、そして本校が求め育てたい能力、すなわち「思考力・判断力・表現力・主体性・協働性・多様性」を持った児童の入学を目的とし、新タイプ入学者選抜を実施する。

02 左記のような資質ある者に対し、その素養をはかるため、従来の学力試験とは一線を画す入学者選抜を実施し、多面的・総合的に評価することによって多様な個性・能力を持つ人材を受け入れる。

03 この入学者選抜においては、本校入学後は、本校が推し進める3つの学びのうち、特に「協働型」「プロジェクト型」の2つの学びにおいて他生徒の模範となり、その力を十分に発揮できる児童を強く求める。

04 普段は考えていることをあまり言えない子でも発表機会がある、知らない人と協力できる力などの潜在能力を見る、日頃やらないことをやってもらう、楽しめる入学者選抜、を構築し、「人間として成長する過程を体験してもらう」「教科とは違うところを伸ばす」点も重視した入学者選抜とする。

| | WIL入試 | | | |
|------|--|-----------------------------------|--|-------------------------|
| | スタンダード型 | プレゼン型 | グローバル型 | プログラミング型 |
| 日程 | 1月14日(土) | | | |
| 募集定員 | 特進 約20名 | | | |
| 専併 | 専願 (出願資格を得た児童のみ出願可能) | | | |
| 入試科目 | ◎身近な課題の解決策についての作文 ◎個人面接 | | | |
| 学習会 | ◎全3回のWIL学習会に参加し、グループワーク・個人面接・提出課題で、思考力・主体性・協働性などを評価 ◎プレテストは最低1回受験必須 ※グローバル型受験者は第2回プレテストでⅢ型受験を必須 | | | |
| 合格発表 | ◎学習会3回(100点)の評価で出願資格を審査 | ◎学習会3回(80点)と、プレゼン(20点)の評価で出願資格を審査 | ◎学習会3回(80点)と、英語に関する面接(20点)の評価で、出願資格を審査 | ◎学習会3回(100点)の評価で出願資格を審査 |
| | 1月14日(土) web | | | |

WIL学習会 / プレテスト スケジュール

| 参加資格は 小学6年生のみとする | WIL学習会 | |
|---------------------|---|---|
| | 〈前期〉 | 〈後期〉 |
| 10月1日[土] | 学習会1回目 | — |
| 10月10日[月・祝] | 第1回プレテスト | |
| 10月22日[土]・23[日] | 第1回プレテストアドバイス会 | |
| 10月29日[土] | 学習会2回目 | 学習会1回目 |
| 11月5日[土] | 第2回プレテスト | |
| 11月19日[土]・20[日] | 第2回プレテストアドバイス会 | |
| 11月26日[土] | 学習会3回目 【プレゼン型】プレゼンと質疑 【グローバル型】英語に関する面接 | 学習会2回目 |
| 12月10日[土] | — | 学習会3回目 【プレゼン型】プレゼンと質疑 【グローバル型】英語に関する面接 |
| 出願資格通知 | 12月上旬 | 12月中旬 |
| 特記事項 | 第1回もしくは第2回プレテストの受験は必須 ※グローバル型受験者は第2回プレテストでⅢ型受験を必須 | |

お問い合わせ

追手門学院大手前中学校 | <https://www.otemon-js.ed.jp>
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20 TEL:06-6942-2235 FAX:06-6945-7552



改定!!

プログラミングの
グループワークの様子を評価する
「プログラミング型」

ものさしは一つだけじゃなし
WIL ウィル 入試

追手門大手前は、受験生同士が対話をして新しい知識を得ながら考えて表現する、
わくわくするような、今までにない全く新しい入試で、ペーパーテストでは測れない学力を測ります!!

新設!!

グループワークにプラスして
英語資格や英語の学習経験を活かせる
「グローバル型」



追手門学院大手前中学校

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
学校法人追手門学院は
関西SDGsプラットフォームに加盟しています。